

みらいん

33号
2014年
11月



仙台を離れて暮らす皆さんより

わたしの近況報告

前略 お元気ですか／表紙のひと
みらいん編集部取材ダイアリー
沿岸部復興ニュース／これから住むまち
読者からひとこと／交流サロン紹介
クロスワードパズル／ふるさとにごつつおさん



「みらいん」は、
震災からの復興に向けて
歩むまち・仙台の“ひと”と“地域”の
今を結ぶ情報紙です。

ごあいさつ

仙台発 震災復興 地域かわら版「みらいん」は、復興に向かう仙台市東部沿岸地域の現在の様子、仮設住宅のコミュニティづくり、生活再建に資する情報などをお届けするため2011年12月に創刊されました。

震災から4年目を迎え、仙台市内に住む被災された方々の状況は、今も刻々と変化し続けています。みらいん編集部は、そんな皆さんの再建に向けての取り組みや心模様取材し、本冊子を今年度、隔月で発行していきます。

次の一歩を踏み出すための情報紙として、または、懐かしい顔を見つける読み物として…。本紙が少しでも皆さんのお役に立つことができれば幸いです。

「みらいん」編集部一同

仙台発 震災復興 地域かわら版 みらいん【33号】

2014年11月1日発行

発行
仙台市

企画・編集

協同組合みやぎマルチメディア・マジック

岡崎裕子
熱海奈穂子/網野武明/鉅鹿大輔/菊地明彦
齋藤孝之/佐藤有希/芳賀幸子
金子秀樹

印刷

ハリウ コミュニケーションズ株式会社

協力

河北新報社

特別協力 (五十音順、敬称略)

千田佐知子/NPO山形ボランティア隊 本田光太郎

お問い合わせ

〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町 2-12
協同組合みやぎマルチメディア・マジック
「みらいん」編集部
Tel.022-390-5755 Fax.022-390-5756
kawara@mmmm.or.jp



表紙のひと

あすと長町仮設住宅のラジオ体操クラブ

これから寒さ厳しい冬を迎えますが、体を動かして健康づくりに励んでいるのは、あすと長町仮設住宅ラジオ体操クラブの皆さんです。毎朝、放送開始時間の6時半を目指して集まります。同仮設住宅に入居後間もなく、健康維持のために有志によって始まりました。朝一番で皆さんが顔を合わせることで、各自の体調管理やコミュニティ形成にも役立っています。

「やっぱり、ラジオ体操に参加すると体の調子が良いよね」と語るのは、若林区深沼出身でこの秋に仮設住宅から退去する大友真次さん。「移った先でもラジオ体操があれば参加したいね」と希望を口にしました。

知り合いが仮設住宅に入居していることが縁で、近所から夫婦で参加するのは太白区の後藤勝三さん。「来ないと病気と思われるから、歩いて20分くらいの距離を通っている。来年は富士山の登頂を目指しているから体力づくりしなくちゃね」と語ります。「体操の後、たまに皆で朝ごはんを食べに出かけるの」とラジオ体操を通じて出来た交流も楽しみのひとつです。

クラブの代表で仮設住宅自治会長の飯塚正広さんは「皆、この体操に出てきて体調が良くなったって言うね。これからラジオ体操を続けられるといいね」と、健康維持に努めています。

撮影場所/あすと長町仮設住宅 (太白区)

前略
お元気
ですか

ひさみち
久道節子さん
からのお便り

仙台に来て
一人ご生活している
けど楽しんでる。積極的に積極的に参加し、積極的に積極的に仲間の知り合い。意外と関係のある方とも話しのなほでわかり。とくち有意義な生活をしていきます。



ともちゃん、お元気ですか？ 私は今、仙台市泉区で、娘の近くに住んでいます。故郷牡鹿の大原浜へ帰るのは、お墓参りの時だけになってしまいました。

大原にいた時には、ともちゃんや友だちと一緒に毎日夕方になると散歩に出かけましたね。山の中を小一時間ほど歩いて、山菜を採ったり、鹿に出会ったりして楽しい時間でした。散歩とその後のお茶飲みやおしゃべりが、自分にとって良い気分転換になっていたなあと思い出しています。

仙台の生活にも少し慣れて、色々なサロンやサークルにも参加しています。最近では、トーンチャイムという楽器を練習しています。今度、市民センターで演奏会をやる予定です。

ともちゃんや皆が行ったのは蔵王温泉だったかしら。懐かしく思い出しています。それが落ち着いたら、また旅行に行きましようね。それまで、お元気で。

お便りを
受け取った
石森智子 さんより

せつちゃん。お元気そうで何よりです。大原浜は、復興工事の大型車が何台も行き来する毎日です。夕方の散歩、私も懐かしく思い出しています。ほんとに楽しいひと時ですよ。来年は、また一緒に温泉に行きたいですね。せつちゃんも、それまでお元気で。

皆で楽しくポストカードをつくってみませんか？

「みらいん」では、スタンプを押してポストカードをつくり、大切な人にあててメッセージを書く体験教室を開催します。教室でつくったポストカードの中から、次号のこのコーナーに掲載するハガキを選出します。はじめての方でも簡単にできます。ぜひご参加ください。参加無料。

- 参加にあたっては応募が必要です。下記をご覧ください。
- 対象者/東日本大震災で被災した、現在宮城野区にお住まいの方10名。応募多数の場合、抽選とさせていただきます。
- 開催日/11月23日(日) 10:00~12:00
- 会場/仙台市生涯学習支援センター(旧仙台市中央市民センター・宮城野区榴岡4-1-8)
- 応募方法/3ページの「みらいん」編集部お問い合わせ先に電話でご連絡ください。
- 応募締切/11月14日(金)



宮城野区出花 ▶ 山形県東根市

小川 裕紀子 さん

少しずつ東根の人間になってるなあって感じます

住まいが津波被害に遭い、出身地の山形県に戻りましたが、嫌いだった地元で単身で生きていくことに孤独や悔しさを感じていました。当初はさくらんぼ農家で働いたり、必死でしたね。自分で何か出来ないか考え、地域のお母さんたちを助けたいという思いと、好きな英語も活かして英語教室を始めました。仙台に戻りたい気持ちもありますが、地元を好きになる努力をしたおかげか、こちらの皆さんの優しさや風土、ゆっくり流れる時間にだんだん馴染んできているのを感じます。今は英語で歴史を教えたいと思って頑張っています。

写真左は夫の茂さん



若林区荒浜 ▶ 名取市

長澤 美江 さん

近所の田んぼの向こうには荒浜が見えるんですよ

主人の転勤によって全国各地で暮らしましたが、13年間過ごした荒浜は、波の音が聞こえる素敵な土地で、地域の皆さんと仲良く過ごしました。今の住まいは娘の家の土地に建てました。ここも津波で浸水しましたが、浸水高の表示が近くにあり、後世に伝えるのにいい取り組みだと思います。再建に関しては、年齢的にローンが組めず、活用できる助成制度がないことから苦心しました。大震災のことは忘れることはできないと思いますが、前向きに頑張っていきたいですね。

写真左から菜々美さん、優夏さん、大輔くん、知美さん、本人



青葉区荒巻本沢 ▶ 山形県米沢市

田中 昌枝 さん

新たな友だちとの交流を楽しんでいます

荒巻本沢の住まいが震災により全壊判定を受け、米沢市で暮らす息子を頼ってこちらへ来ました。ここは便利で大抵のものは揃いますし、地震が少なく安心ですね。雪は多いですが、集合住宅だから雪下ろしはせずに済みます。孫もよく遊びに来るんですよ。こちらで友だちになりました方々にはお茶飲みや食事に誘われ、その心遣いのおかげで心にゆとりが出来ました。また、たまに福島県から避難している人たちの集いに参加して、そこで仲良くなった人たちと温泉に行ったりと楽しんでいます。今後に関しては仙台市の復興公営住宅に申し込みをしました。



写真右は息子の健矢くん

若林区藤塚 ▶ 亶理町

小野 繭未 さん

家族が増え、にぎやかになりました

2012年12月に亶理町へ嫁いできました。2013年に息子の健矢が生まれ、今は主人とお義父さんの4人で暮らしています。藤塚が大好きなので寂しくなる時もありましたが、健矢が生まれてからは寂しさがやわらぎました。近所に同年代の女性がいて、お互いの子どもが同い年なこともあって仲良くしてもらっています。今は、地域に馴染むため少しずつ郷土料理を勉強しています。健矢が外出できるくらい大きくなったので、これからは地域の催しに積極的に参加したいですね。

仙台を離れて暮らす皆さんより

わたしの近況報告

震災の被害を受けて、避難または自宅の再建によって仙台市を離れた皆さん。故郷を離れて新天地での暮らしを始めた方々が、それぞれの近況を教えてくださいました。

宮城野区蒲生 ▶ 色麻町

水戸 仁 さん

自然豊かな環境で元気に暮らしています

蒲生に家を購入して約10ヵ月で被災しました。蒲生に住んだのは、トータルで10年くらいです。震災後は2年ほど中野出花で生活し、私が色麻町の出身ということや妻の職場が大和町に移ったこともあり、昨年はこちらで暮らし始めました。子どもたちの通学は遠くて大変ですが、夏場は蛍が見えたり近所の川を鮭が遡上したりする恵まれた環境で皆体調が良くなりました。頻繁に子ども会の行事がありますので、地域に馴染むために頑張って参加を心がけていますね。

若林区井土 ▶ 亶理町

小熊 としよ さん

娘たちに囲まれて安心です

3人いる娘のうち2人が、亶理町の同じ地区に住んでいたんです。震災後に土地を探していたら、偶然同じ地区に空きがあったので迷わずに移転しました。だから、同居の娘も含めて3人娘の一家が近所なんです。一時私の体調が悪くなった時にも、子や孫が近所だと何かと助かりましたよ。今は、家の庭に小さな畑をつくって、野菜を育てるのが日課です。車の運転ができるうちは、今まで同様に井土の集まりにも出かけるつもりです。

写真左から倅樹くん、由美さん、本人、幸浩さん



宮城野区中野 ▶ 多賀城市

二瓶 貞子 さん

四季折々の花と笑顔の花を咲かせたい

長男家族が結婚後に住んでいた近くの土地で、2013年2月に再建しました。震災当日まで約50年床屋をやっていた職業柄か、人見知りしない性格なので、新しい地域でもすぐにお友だちができました。中野に住んでいた時と同じように、しょっちゅうお茶飲みをしています。元の地域の皆さんとの交流も大事にしていて、つい先日近所だった方が遊びに来ました。11月には、お世話になったプレハブ仮設住宅の皆さんと福島県へ旅行に行く予定です。庭では、私の好きなオキザリスがかわいい花の盛りです。



若林区荒浜 ▶ 名取市
佐藤徳美さん

**明るく、前向きに
がんばっています**

今年の5月に引っ越してきました。この美田園地区は新しい団地なので、街並みもきれいで、交通の便も良いですよ。窓から仙台空港に離発着する飛行機が見えるんです。避難所時代に知り合った友人と時々集まるのが楽しみです。勤めがあったり、皆さん忙しい毎日だけど、少しずつ落ち着き始めたようですね。私も仕事を続けていますし、家族の世話など用事に追われる日々ですが、くよくよしないで、元気に過ごすようにしています。



宮城野区蒲生 ▶ 名取市
佐々木清さん **まさこ 正子**さん

庭の手入れと夫婦喧嘩を楽しんでいます

清さん：蒲生で営んでいた商店を閉めてひと月余りで被災しました。今の住まいは震災後すぐに購入、入居したけれど、まだ皆そんな時期じゃなかったから、すまない気持ちがあったね。震災前だと、この時期はヤマ(松林)でのきのこ採りが楽しみだったね。最高の健康法だったなあ。

正子さん：ここは若い世代が周りに多く、コーヒーに誘ったり、妻手づくりのシソ巻きや餃子を振舞ったりして交流してるの。蒲生では皆さんにお世話になりました。体に気をつけて長生きしましょうね。



若林区荒浜 ▶ 涌谷町
庄子正弘さん

**好きな仕事だから、
距離は気になりません**

生まれ故郷が美里町なので、隣の涌谷町で開業するのも何かの縁だと感じました。以前からの知り合いが営んでいた店を借りて、フランス料理店「ボーヴィリエ」をオープンさせました。仙台と比べれば小さな町ですが、良さも沢山あるんですよ。地元の食材を中心にメニューを考えますので、生産者の顔が見えることが大きなメリットになります。涌谷の皆さんと協力し合いながら仕事をしていると、単身赴任の辛さも忘れてしまいます。



宮城野区蒲生 ▶ 多賀城市

大学正男さん
しょうこ
正子さん

元の地域の方との親睦は今も続いています

正男さん：引っ越したのは2011年の8月。東京に住んでいる娘がインターネットで物件探しをしてくれて、見つけたマンションです。土地勘はあるし、商店や金融機関なども近くて暮らしに便利な地域です。

正子さん：元の地域では子供会の役員をしていたこともあったのですが、その頃の仲間とは今も仲良しなんです。毎月ランチ会で顔を合わせているんですよ。以前のように頻りに会えないのは寂しいですが、元の地域の催しには声をかけていただけるのが何よりうれしいですね。

写真左から本人、琉央くん、一冬さん



宮城野区中野 ▶ 亶理町

鈴木正昭さん

家族と一緒にいられたから心強かった

亶理町に長男の嫁の実家があり、震災翌日から家族皆でお世話になりました。孫たちの学校について考えていた頃、ちょうど売りに出ている物件を長男が購入し、2011年5月に再建。次男は、仕事の都合で仙台市内にアパートを借りて住んでいます。職場が震災前と同じ仙台新港なので、仕事帰りに元の地域の仲間たちと集まることもあります。近所には亶理町沿岸部で被災して転居した方が多く、互いに思いやり合っています。ずっとここで暮らしていくかは、まだ分からないですね。



青葉区折立 ▶ 埼玉県蓮田市

なまため
生田目優子さん

**自然に癒された折立の生活
今も気持ちは仙台とともに**

今年1月に、長男の就職先である埼玉県に移転しました。主人は青森県に単身赴任中で、現在は2人の子どもと4匹の猫と一緒に暮らしています。学生時代は東京に住んでいたの、引っ越してからは、関東に住む当時の友人と会う機会が増えましたね。土地開発が進む埼玉県にあって、田畑の残る蓮田市は自然豊かで、折立と環境が似ていると感じます。番山(ぼんざん)と広瀬川に癒され、折立で過ごした20年間。離れていても心はいつでも仙台LOVEです。

宮城野区蒲生 ▶ 多賀城市

八巻芳夫さん

離れてからも地域のつながりを感じています

妻の両親が近くの施設にいることもあり、多賀城市に転居しました。仕方がないこととはいえ、蒲生を離れたことはすごく残念に思っています。近所に知人が住んでいるので、地域のことをいろいろ教えてもらっています。馴染むためにも地域の催しに参加しようと思っ



宮城野区中野 ▶ 福島県福島市

佐藤とよさん

**自称“リハビリ暴走族”
「あれも、これもしたい」**

今年2月、私用で訪れた福島市で倒れてしまい、そのまま市内の病院に入院しました。おかげさまで7月に退院し、その後は親戚の人が探してくれた市内のサービス付き高齢者向け住宅で暮らしています。毎週土曜日には、リハビリで近所に買い物にも出かけています。若い頃から冒険心が旺盛だからか、リハビリも時に暴走してしまいます(笑)。自分の経験を通して「健康に注意してください」と、強く思います。仙台市に戻るか福島市に残るか、将来については急がないでゆっくり考えます。

写真左は妻の順子さん



宮城野区



仙台市造成地の申込完了
移転希望者の宅地が決定

防災集団移転促進事業(以下、防集)対象の方へ、安全な住まいを提供するために仙台市が造成を進めている田子西隣接地区、南福室地区、上岡田地区の宅地申込受付が完了しました。10月には地区ごとにまちづくりの意見交換会が行われ、仙台市から造成工事の進捗状況、補助金に関する手続きの説明、移転者同士の顔合わせを兼ねた交流会も実施。防集対象者向けに、申し込みがなかった宅地の随時募集も始まりました。

若林区



同じ荒浜の「石場地区」に
新しいふるさとができました

防災集団移転促進事業で、市が造成した石場地区の工事が完了しました。全14宅地のうち、復興公営住宅の戸建て住居が2区画(来春入居予定)、防災集団移転用宅地が12区画、さらに公園と緑道が整備されています。この地区のまちづくりに関して、市と移転希望者は意見交換会を通じて協議してきました。既に着工しているお宅もあり、この地区に住宅が並ぶ日が近づいています。



夏祭り
スナップ

この夏、それぞれのコミュニティで個性豊かな夏祭りが開催されました

8/10 (日) 若林区・卸町5丁目公園仮設住宅
あいにくの雨模様でしたが、元気いっぱいのすずめ踊りでした



8/24 (日) 宮城野区・扇町1丁目公園仮設住宅
大雨で花火は中止となりましたが、学生ボランティアなどを含め約200名が参加しました



8/17 (日) 若林区・荒井小学校用地仮設住宅
住民のお母さんたちによる大正琴が披露されました



8/2 (土) 宮城野区・福田町南1丁目公園仮設住宅
既に住居を再建された元住民や、お住まいの方の子や孫たちも加わって、アットホームな宴となりました



8/16 (土) 宮城野区・岡田会館
見事に復活した第37回南蒲生納涼盆踊り大会。雨天ながらも約250名が参加し、館内では子ども神輿も披露しました



8/24 (日) 若林区・日辺グラウンド仮設住宅
地元の「六郷すずめっ子」による演舞に大きな拍手が出ました



8/9 (土) 太白区・あすと長町仮設住宅
台風の影響で中止になった夏祭りですが、代わりにミニコンサートが開催され、盛り上がりました



8/23 (土) 若林区・七郷市民センター
荒浜出身の住民グループ・若松会の夏祭りは、スイカ割りや流しそめんなど盛り沢山の内容でした。



8/17 (日) 若林区・七郷中央公園仮設住宅
89ER5チアーズと一緒に楽しく踊りました



8/10 (日) 宮城野区・仙台港背後地6号公園仮設住宅
「台風もなんのその」の勢いで夏祭りが繰り広げられました。住民有志の裏方さんたちに拍手!

快晴のまち開き式
(宮城野区・久保野地区)



9/6(土)

住民主体の集団移転となる宮城野区岡田の久保野地区住宅地のまち開き式(竣工式)が行なわれました。住民の交流・憩いの場となる公園は、「皆の思いを込めて」「久保野一番公園」と命名。公園脇には寄贈されたベンチが置かれ、その傍らにしだれ桜が記念に植樹されました。

三本塚 夏のオモイデゴハン
(若林区・三本塚)



9/6(土)

地域のお母さん方が、ずんだ餅や寒天など4種類のメニューをつくりました。食後は、地域の夏の風物をスライドとお話で振り返りました。

宅地復旧完了前に住民説明会
(青葉区・折立市民センター)



9/21(日)

12月の工事完了(予定)を前に、仙台市による折立5丁目地区宅地復旧事業工事説明会が開かれ、仙台市や施工業者による工事進捗報告や、質疑応答を行いました。説明会の後は、住民でつくる折立団地東部町内会被災復興の会の全体集會が開かれました。

灯籠に祈りを込めて
(泉区・七北田川周辺)



8/16(土)

泉区市名坂町内会の夏祭り。沿岸部から避難されている方々がつくった灯籠は、川の増水で流さなかったものの、会場をきれいに彩りました。

津波到達高表示板が設置
(宮城野区・中野小学校跡地)



8/25(月)

中野小学校跡地に東日本大震災の津波到達高が表示されました。「中野小学校校舎が解体された後は津波被害の程度が分かるものがない。慰霊でお参りする方や、視察訪問する方のためにも津波到達高を示すものが必要」という、中野4町内の皆さんの声を活かされたものです。

ずんだの美味しい季節です
(太白区・あすと長町仮設住宅)



8/26(火)

毎月開催されている「おしるこカフェ」。今回は参加者の皆さんで枝豆をつぶし、ずんだ餅をつくりました。手を動かしながら「母親に言われて手伝っていたのが懐かしい」「とりたての枝豆だと薄皮取らなくてもいいのよね」などと話に花を咲かせていました。

みらい編集部
取材ダイアリー

8月~9月

みらい編集部は、毎日読者の皆さんと一緒にさまざまな催しや出来事に参加し、取材しています。その一部をご紹介します。

彦星さま、待ってるよ~
(若林区・七郷中央公園仮設住宅)



8/1(金)

集会所に集まった皆さんが、七夕飾りの短冊に願いを込めて書きました。それぞれの短冊を覗き込んで「あんだ、何書いたの」「これから現れる彦星さまに、ラブレターだっちゃ」と、部屋中大笑い。そんな皆さんに共通する思いは、安定した生活と平和な日々が来ることです。

ミニミニ“大”運動会
(太白区・中央市民センター)



8/9(土)

被災された方を対象としたサロン「やっべし石巻茶話会」が開催されました。石巻市で被災し、仙台市内へ避難された方々が40名程集まり、催されたのはミニミニ“大”運動会。チームに分かれ、玉入れやボールリレーで競い合いました。皆さん夢中で競技を楽しんでいました。

燕沢東エリア (宮城野区)



◀太極拳の演武で使用する三十二式太極剣



①燕沢おたっしゅくらぶ



②燕沢太極拳同好会



③燕沢児童館

地域の町内会 & 交流グループなど

- ①燕沢おたっしゅくらぶ 介護予防運動の自主サークルです。随時新規会員募集中です。体操の他に歌や講話もあります。演芸大会では全員でダンスを披露しました。毎週水曜日 燕沢コミュニティ・センター 10:00～11:30 問/022-252-6867 (阿部)
- ②燕沢太極拳同好会 健康維持と認知症予防として簡化二十四式太極拳から三十二式太極剣などを練習しています。ゆったりとした動きで体幹を鍛えます。毎週火・木曜日 13:30～15:15 問/022-252-9108 (燕沢コミュニティ・センター)
- ③燕沢児童館 乳幼児親子対象の定例行事のほか、子育て支援クラブ共催の子育てサロンを月2回開催。いろいろな遊びや体験行事が目押し。写真は年1回開催の国際交流活動で西山中学校のジャマイカ人講師と英語で遊ぶ活動の様子。問/022-253-2701 (燕沢児童館)
- ④燕沢パソコン教室 今年で10年目、会員は40名。参加者は40代～80代まで幅広い年齢層で、コースは初心者と中級者の2つ。パソコン貸出機あり。お花見・食事会などもあり、楽しい交流の場です。毎週金曜日9:00～10:45 問/022-252-9108 (燕沢コミュニティ・センター)
- ⑤四ツ葉会 カラオケ愛好会の自主サークルです。認知症予防も兼ねた発声練習から楽譜の読み方まで、「和」をモットーに親睦を深め、楽しく活動しています。第2・4木曜日 燕沢コミュニティ・センター和室 13:00～15:00 問/022-251-5004 (嶺岸)



▲発声に抑揚をつけ、感情を込めて歌う練習をします

これから 住むまち

新旧住民が融和する、 まとまりのある街

燕沢東エリアは、燕沢小学校を中心に中央公園、児童館、老人ホーム、コミュニティ・センターが集中的に配置されています。「町内会の行事がコンパクトにまとまりやすいので、住民も参加しやすいようです」と燕沢東部町内会長の鈴木孝一さんは語ります。

「このエリアは、昔からの住宅と新興住宅地が混在していますが、この頃は良い感じに馴染んできたな、と感じることが多いです」とは燕沢学区町内連合会長兼燕沢コミュニティ・センター運営委員長の大西憲三さん。同センターで開催されるサークル活動はどこも盛況で、九月は燕沢文化振興会主催の演芸大会があったため、練習に打ち込む姿が見受けられました。

燕沢東復興公営住宅の進捗具合は、九月末現在で躯体工事中となっています。



④燕沢パソコン教室



⑤四ツ葉会



これから整備される復興公営住宅、防災集団移転促進事業の宅地ができる地域の様子と、地域で交流を楽しむ方々をご紹介します。



②八幡軽体操クラブ



③八幡学区民体育振興会



④八幡地区まちづくり協議会



⑤角新会

地域の町内会 & 交流グループなど

- ①傳播八幡井組雀踊り保存会 戦前まで八幡石切町の石工たちに踊り継がれてきた雀踊りは、大崎八幡宮の祭礼などで奉納されていました。傳播八幡井組は、その400年以上の伝統を持つ直系の雀踊りを継承する数少ない団体です。
- ②八幡軽体操クラブ 毎月第2・第4木曜日の午前中を中心に、青葉区の八幡コミュニティ・センターで活動中。ビデオに合わせたストレッチや軽体操を実践し、健康維持を促進しています。月会費100円。問/022-271-2274 (伊藤)
- ③八幡学区民体育振興会 ニュースポーツと呼ばれる「ベタンク」や「グラウンドゴルフ」の活動のほかにバドミントンや卓球、少年スポーツも盛んです。
- ④八幡地区まちづくり協議会 角五郎を含む八幡地区の住民や各団体などが集まり設立。街の活性化などを目的に、地域のコミュニティスペース「八幡杜の館」の運営管理のほか、同施設での人気イベント「八幡杜の館寄席」などを主催しています。
- ⑤角新会 角五郎復興公営住宅が整備されるエリアの町内会。隣接する広瀬川周辺の清掃活動など、地域の住環境整備を行っています。



◀八幡学区民体育振興会でも推奨している「ベタンク」は、老若男女が楽しめるニュースポーツです



①傳播八幡井組雀踊り保存会



▲武家屋敷の風格を残した建屋が特徴的な八幡杜の館。地域の博物館的な役割も担います

歴史情緒あふれる街で 地域一体のまちづくり

青葉区の角五郎は、杜の都のシンボル・広瀬川沿いに位置しています。静かで落ち着いた住環境が魅力のエリアです。近隣にある国宝大崎八幡宮では、市内でも最大規模のどんと祭「松焚祭」をはじめ、一年を通してさまざまな祭事が開催されています。地域では街をさらに盛り上げようと、町内会などが中心となり「八幡地区まちづくり協議会」を設立。雀踊りの一大イベント「どんとロード八幡雀踊り」の開催や、文化活動拠点「八幡杜の館」の整備・運営などを行っています。協議会の会長で、八幡地区町内連合会長も務める伊藤巖さんは「地元を盛り上げることで、自分たちが住む街に一層の誇りと愛着を持ってもらえればうれしい」と笑顔で話します。

角五郎復興公営住宅の進捗具合は、九月末現在全面改修中となっています。

あすと長町
エリア
(太白区)

仙台七夕づくり応援隊がつくる折り紙作品は、活動場所の長町市民センターの入口に飾られています



①仙台七夕づくり応援隊



⑤郡山地区連合町内会

地域の町内会 & 交流グループなど

- ①仙台七夕づくり応援隊 仙台七夕の飾り制作を目的に設立。毎月2回、年間を通して長町市民センターで活動しています。七夕飾り制作する5月～8月以外は、折り紙を楽しみながら参加者同士の交流を深めています。会員募集中。問/022-248-5958(庄子)
- ②長町地区町内会連合会 26の町内会、約9,000世帯が所属する連合町内会です。地域に住む高齢者の方々が参加する「長町地区寿運動会」など、地域活性とコミュニティづくりにむけて、さまざまな取り組みを行っています。
- ③長町商店街連合会 「長町一丁目商店街振興組合」「サンカトール商店街振興組合」「長町駅前商店街振興組合」が一体となり、活気あふれる多彩なイベントを主催・共催しています。
- ④東長町小学区民体育振興会 体育活動を通しての住民同士の交流を目的に活動中。毎年開催される東長町小学区民運動会は、多くの人が参加し交流を深めています。
- ⑤郡山地区連合町内会 16町内会、約5,300世帯の方々が参加。音楽コンサートや防災訓練など、地域一体となった活動を積極的に行い、住みやすく安心な街づくりを目指しています。

各復興公営住宅の立地や間取りなどの情報は「平成26年度復興公営住宅情報」(仙台市都市整備局復興公営住宅室発行)でご確認ください。冊子をご覧になりたい方は、下記にお問い合わせください。
問い合わせ/仙台市都市整備局復興公営住宅室 022-261-1111(代)

これから住むまち



②長町地区町内会連合会



③長町商店街連合会



④東長町小学区民体育振興会

新旧の魅力が交わる街並み
いま注目の副都心エリア

あすと長町の「あすと」とは、明日(あすと)と、英語で私たちの意味のUS(あすと)をかけ、都の「と」を加えた造語です。「未来の私たちの街」といった願いが込められています。開発が著しいエリアとして注目される一方、江戸時代から続く宿場町の風情が残り、下町情緒あふれる街並みも楽しめます。地元の商店街では、震災後の街並みを元気づけようと、年間を通し多彩なイベントを開催してきました。長町商店街連合会の大友克人会長は「地元の各団体が開催する長町まつりでは、縁日担当で参加するなど、地域の催しにも積極的に関わっています。住民の皆さんに愛される、活気あふれる商店街にしていきたい」と話していました。

あすと長町エリアの復興公営住宅の工事の進捗具合は、九月末現在第一、第二、第三の三棟すべてで躯体工事中となっており、来春完成の予定です。

仙台駅東
再開発住宅
(宮城野区)

①ママっこクラブ



生花に触れてアレンジすると右脳活性化の効果があるとか



②げんき小田原クラブ



③東口ますます元気教室



④榴岡児童館



⑤東口ガイドボランティア

仙台駅へ徒歩圏内、
利便性の高い人気のエリア

仙台駅東再開発住宅のある宮城野区小田原地区は、国道四五号線をはさんで北側は、昔ながらの下町情緒を感じさせる住宅街が広がり、一方南側は仙台駅東口の大規模な再開発により高層住宅が建ち並ぶ近代的な街並みと、二つの顔を持っています。小田原東部振興会会長の木村忠一さんは、新しいマンションなどができるたびに町内会に入会するメリットを丁寧に説明し、新旧住民が融和できる仕組みづくりに熱心に取り組んでいます。最近ではそのかいあって新しい住民の町内行事への参加率が高く、木村会長は「これから次代の町内会を担う人材を見いだしていきたいですね」と語ります。

仙台駅東再開発住宅の進捗具合は九月末現在でリフォーム済み、十一月入居開始予定です。

地域の町内会 & 交流グループなど

- ①ママっこクラブ 現役エステティシャンが主催する託児付きの自主サークルです。フラワーアレンジ制作、子育てやマネーに関するセミナーなど、少しの時間、子育てから離れておしゃべりや創作の時間が過ごせます。毎週日曜日10:00～12:00 問/0120-989-424(熊谷)
- ②げんき小田原クラブ 介護予防体操の自主サークルです。会員は約30名、10名のサポーターと一緒にストレッチなど軽い体操や、おしゃべりや歌を楽しんでいます。毎月1回(友引の日)10:30～12:00 セレモール小田原で開催します。問/022-297-0529(沼田)
- ③東口ますます元気教室 榴岡市民センターと榴岡地域包括支援センター共催の介護予防教室です。健康体操や脳トレ、口腔の健康や食事に関する講話など、多彩な内容で年9回の開催。写真は「なつかしの名曲コンサート」の様子。問/022-295-0403(仙台市生涯学習支援センター)、022-297-5906(榴岡地域包括支援センター)
- ④榴岡児童館 子どもの年齢や発達に応じたプログラムや、民児協共催の子育てサロンなどの定例行事の他に新田児童館等との児童館交流イベントもあります。写真は今年度5回開催の「そあとの庭ワークショップ」活動の様子です。問/022-299-0604(榴岡児童館)
- ⑤東口ガイドボランティア 仙台駅東口の見所を、ガイドの解説付きで散歩するまち歩き活動です。ガイドになるための勉強会もあります。毎月28日開催の「新寺こみち市」や、榴岡天満宮の「みんなの市」開催日に合わせて実施。10:00～12:00 問/022-295-0403(仙台市生涯学習支援センター)



▲アートに親しむ「そあとの庭ワークショップ」

読者からひとこと

読者の皆さんが普段何気なく思っていることをはじめ、皆さんからのお知らせなどをお届けするコーナーです。お茶飲みしながら、のんびり読んでくださいね。

●「みらいん」や新聞などを通じて皆様に故郷・若林区荒浜の写真を提供していただきましたが、パソコンが故障し、提供者連絡先の情報を失ってしまいました。お心当たりの方は今一度ご連絡ください。問／〇九〇（七九三）三四〇四
佐藤豊さん

●宮城野区田子西町内会が立ち上がりました。皆で住む町だから、ゴミ置き場をきれいに利用するなど、ひとりひとりが常識をもち、ルールを守って皆で仲良く暮らしましょう。
宮城みち子さん



●「みらいん」三十二号に載っていた横山紀子さんは、お互いの子どもが同級生ということもあり、若林区荒浜に住んでいた時に知り合いました。震災後はどうしているのか分かりませんが、元気な姿を紙面で見られてうれしかったです。
森合貞勇さん

●宮城野区蒲生の和田地区で被災し、山形県山辺町に移りました。今は皆さんにいろいろ教わりながら、町内の公民館で元気に働いています。娘の理紗は中学二年生になり、吹奏楽部でクラリネットを担当し、たくさん友だちと仲良くしています。
永瀬優子さん

●工期の遅れがありました。青葉区折立五丁目の復旧完了も間近となりました。やっと各々の生活再建を考える段階です。希望を持って今後の生き方を考えていきましょう。
折立団地東部町内会被災復興の
村田利さん

●若林区荒井小学校用地仮設住宅の脇に、いつの間にか桐の木が育ち、もう私の背丈の倍くらいです。葉っぱもこんなに大きいですよ。私は神奈川県に転居するけど、この木は復興の記念としていつまでもどこかで育てて欲しいと思っています。
石井礼子さん



●来春、宮城野区田子西で再建予定で家の建築工事が進んでいます。新しくご近所さんになる方や、すでに転居された元の地域の皆さんに会えることを楽しみに「田子西地区集いの会」に参加しました。
石井みつ子さん

仙台市からのお知らせ

閉校・統合に向けた準備を進めています

荒浜小学校統合準備委員会

平成28年4月の七郷小学校への統合に向けた情報共有や調整を行うため、両校の学校・保護者・地域関係者などによる統合準備委員会を設置し、10月9日(木)に第1回会合を開きました。

中野小学校閉校準備委員会

平成27年度末(平成28年3月末)の閉校に向けた情報共有や調整を行うため、10月16日(木)に第2回会合を開きました。

※当日の話合いの様子などについて、詳しくは教育委員会ホームページ(http://www.city.sendai.jp/manabu/kyoiku/gakko/1214011_1741.html)をご覧ください。

■問い合わせ
022-214-2162
仙台市教育委員会事務局学事課

情報ボランティア@仙台の 交流サロン 紹介



ほっこり ふれんどサロン

に開催されています。

四カ月ぶりに開催された九月のサロンには、六十〜九十代の女性ら約二十人が参加。市内の合唱団とともに童謡や歌謡曲を歌って盛り上がりました。

参加者の出身地は、気仙沼市、東松島市、福島県などさまざま。石巻市出身の木村とく子さんは「知らない土地に一人で、つらく寂しかったので、同じ境遇の話し相手ができ救われた」と話します。サロンが地域に溶け込む第一歩になっているようです。次回は十二月、音楽コンサートの予定です。

◆連絡先 〇二二(三九二)七八六八(青葉区社会福祉協議会宮城支部)、開所時間…八時三十分〜十七時(月)金曜

取材：大島湧未@東北福祉大学、小田嶋美咲@東北大学
情報ボランティア@仙台 ブログでも発信中です。 <https://kacco.kahoku.co.jp/author/volunteer16> (「河北新報オンラインコミュニティ」ブログ)

クロスワードパズル

出題
石田竹久

こたえ

A	B	C	D
---	---	---	---

1	2	3	4	5
6		A		7
8			9	10
	11	12	13	14
15		16		
17	18		B	19
20	D		21	

タテのカギ

- ①ひとめぼれを稲刈り、曲がりネギや仙台白菜などを収穫と、〇〇〇の秋は食欲を誘います
- ②イカの〇〇〇〇といえば、塩辛のこと
- ③雑誌や書籍などに付いているおまけ
- ④「凸」の反対語
- ⑤ゴリラの横顔のように見えることから通称ゴリラ山とも呼ばれる、青葉区の〇〇〇山
- ⑩「光のページェント」の公式サポート役であり盛り上げ役でもある少女たちは、〇〇〇〇エンジェルズ
- ⑫冬のスポーツシーズンを迎える〇〇〇場開きは、12月の中旬に集中しよう
- ⑭解雇や免職からまぬがれるのは、〇〇がつながる
- ⑮七ヶ浜町の秋の旬といえば、この魚。11月9日には、「〇〇〇と収穫祭」が開かれます
- ⑰ことわざ。青は〇〇より出でて〇〇よりも青し
- ⑲12月から地下鉄南北線で導入されるICカード乗車券「イクスカ」は、来年から市営〇〇、宮城交通、地下鉄東西線と、さらに再来年にはJRと相互利用できる予定

ヨコのカギ

- ①木の根から生えて枝葉をつけます
- ③柴田町にあるJR東北本線の駅で、槻木駅と大河原駅の間にある〇〇〇〇駅
- ⑥紙を貼り合わせるときに、糊を塗る部分
- ⑦江戸時代、全国でも有数の〇〇の産地だった仙台。国分町では仙台〇〇市が開かれていました
- ⑧利他的の反対語、〇〇的
- ⑨何もないたとえ、〇〇をつかむような話
- ⑪青葉区にある宮城護国神社で、12月上旬に「青葉城〇〇福娘」が決定します
- ⑬筋子に対して、一粒ずつほぐしたものは?
- ⑯入籍した日もしくは挙式をした日は、年に一度の結婚〇〇〇〇
- ⑰仙台市の観光名所でも見られる、団体旅行の添乗員は、〇〇〇コンダクター
- ⑲億、兆の上の単位
- ⑳東北自動車道でPAといえばパーキングエリア、SAは〇〇〇〇エリア

前回のこたえ

A ミ B ヤ C ギ D ノ E ハ F ギ
でした。

ジ	ツ	ハ	ヤ	フ	サ
キ	マ	シ	タ		
ズ	ガ	ハイ	キ		
ウ	モ	レ	ギ	ノ	
コ	メ	ン	ゲ	コ	
ム	マ	サ	ム	ネ	
キ	フ	ト	ツ	ミ	

寒い季節のおふくろの味

「クジラ汁」

ふるさとに
ごっつおさん

我が家で受け継がれてきた
郷土の味、紹介します。



材料・レシピ

材料(4人分)

○クジラの皮	100g	○クジラの身	200g
○ごぼう	1/4本	○ニンジン	1本
○大根	1/4本	○白菜	4枚
○しいたけ	4個	○長ネギ	1本
○糸こんにゃく	1袋	○水	1200cc
●味噌	大さじ4	●うま味調味料	小さじ2

つくり方

1. 鍋に水を入れて火にかけ、沸騰したら短冊切りにした大根とニンジン、ささがきにしたごぼうを入れる
2. 根菜類に火が通ったら、5mm幅に切ったしいたけ、一口大に切った白菜、糸こんにゃく、クジラの身を入れる
3. アクが出なくなるまですくい取り、薄くスライスしたクジラの皮、斜め切りにした長ネギを入れる
4. 具材に火が通ったら、●の調味料で味を調え、完成

捕鯨が盛んだった頃、クジラは安価で手に入りやすい身近な食材として親しまれていました。「クジラは捨てる部分がないのよ」と話してくれたのは、石巻市十八成浜^{くぐなりはま}出身であると長町仮設住宅にお住まいの遠藤きみ子さんです。十八成浜を含む旧牡鹿町は、日本有数の捕鯨基地として有名な地域。季節を問わず食べられていたクジラですが、寒い時期によく食卓にあがったのが、クジラの皮や身、野菜を煮た温かい汁物「クジラ汁」でした。一口にクジラ汁と言っても、具材は家庭によって異なり、味つけも味噌を使う家庭もあれば、醤油を使う家庭もあり、家庭の好み色が濃く出たと言います。「敬老の日に、私が家を出していたクジラ汁を娘が再現してつくってくれたの。うれしかったね」と遠藤さん。クジラ汁はおふくろの味として次の世代へと受け継がれています。クジラ汁を美味しくつくるコツは、アクをきれいに取り除くこと。「アクを取る分も考えて水は最初から多めに入れるの」と教えてくれました。